



ここでしか
聞けない!

今年の！ 1年生 スタートカリキュラム研修会ご案内

1年生の担任になった先生必見！(対象:小学校の先生 こども園保育教諭)

現場の幼児教育の保育者から、年長さんの現状をお伝えします。

画像やエピソードはもちろん、手遊びや子どもがわかるゲームの実践研修まで！

そして、スタートカリキュラムの指導案までをご提案

実践的な研修を行います。辞令が出てから申し込まれても大丈夫。お待ちしております！

ご予約制

2018年 4 / 1 (sun)

10:00~12:00

締め切り
3 / 29



参加費1,000円
(講師謝礼・資料代)
(当日お持ちください)



《当日の予定》

- 9:30 受付開始
- 10:00 開会あいさつ
- 10:10 幼児教育が目指すもの
- 10:40 各園の事例 園文化の違う園の事例を映像や画像でお伝えします
- 11:00 スタートカリキュラムで使える遊びの紹介
- 11:30 スタートカリキュラム指導案のご提案
(八巻 寛治先生からのご助言をいただきます)

※お車でおいでの方は、認定向山こども園一般駐車場(無料)をどうぞご利用ください。

主催:(特活)全国認定こども園協会 宮城県支部

事務局: 認定向山こども園 Tel 022-229-0169 Fax

Mail kinder.mukaiyama@gmail.com

企画趣旨

子どもの育ち方が多様化している現在、教育・保育現場では、「スタートカリキュラム」や「アプローチカリキュラム」で、その多様化への対応をしようとしています。また、この4月に乳幼児から高等学校までの保育・教育要領の一斉の改訂が成され、教育課程の一貫性を持たせることがいかに大事かが問われています。この状況下で、幼小連携の在り方にも更なる改善が求められ、それに応えるべく各園・各校で様々な教育・保育実践が試みられています。

私共、全国認定こども園協会宮城県支部では、それぞれ地域毎の園と学校の個々のつながりの幼小連携を越えた、教育課程としての幼小の連続性を模索していきたいと考えました。

現状、各小学校においては、幼稚園や保育園、認定こども園など様々な園文化から新1年生を迎える子どもたちがいます。幼稚園機能を持ち、そして、保育園機能をも持つ私共、認定こども園だからこそ、その園文化の違いを乗り越えた、これからの幼小連携のあり方をご提案できることがあると思っております。

今回、先進的にこのテーマに取り組んでいる横浜市の幼小連携の研修会をモデルに、小学校先生としましては、小学校現場でご活用になれるものを、また、年長児担任の先生には、幼小連携のご理解を深められるよう、研修を設定させていただきました。この研修会が参加者のこれからの教育・保育実践にお役立てになることを願っております。



八巻寛治先生(今回、アドバイスをいただきます)

1982年4月から角田市立角田小学校(3か月)、丸森町立丸森小学校講師(約1年6か月)として勤務しました。1984年4月に仙台市立金剛沢小学校教諭(3年間)となったのを皮切りに、仙台市立田子小学校教諭(6年間)、仙台市立小松島小学校教諭(8年間)、仙台市立東長町小学校教諭(5年間)、仙台市立向山小学校(3年間)と異動し、2009年より仙台市立沖野東小学校教諭をされています。

1992年8月、東北大学社会教育主事講習会修了(3か月)。2000年8月に日本教育カウンセラー協会上級教育カウンセラー、2006年5月に学級経営スーパーバイザー、2011年にガイダンスカウンセラーの資格を取得し、仙台市内の小学校、研究会、市民センター等を始め、宮城県内、東北各県、全国からの講座依頼に応えながら、著書も多数執筆されています。

会場

向山こども園
礼拝堂

住所
仙台市太白区八木山緑町21-10



グーグルマップが開けます

申し込み方法

下のQRコードを読み取り、入力画面に必要事項を記入の上送信してください。
(送信しても、返信はありませんが申し込みはされておりますのでご安心ください。)
(操作がわからない方などは、お電話でのお申し込みも可能です。)

申し込みは、辞令が出た後、1年生の担任に確定してからでも大丈夫です！

締め切り 3月29日(木)



お問い合わせ

不明なことがありましたら、どんなことでもお問い合わせください！

TEL 022-229-0169 担当:木村創(はじめ)